

**授業概要**

博物館において、情報技術、メディアは資料収集、研究、展示、教育などあらゆる場面において活用されている。本授業では、博物館における情報・メディアの意義と歴史、活用方法とその実際について講義する。博物館での活動をいかに情報化し、情報発信をおこなうべきか、さまざまな取り組みの実例を挙げながら講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	博物館における情報・メディアの展開と意義
第 3 回	ICT 社会のなかの博物館
第 4 回	博物館教育と情報・メディア
第 5 回	デジタル化の技術 (1) 博物館資料とデータベースの構築・運用
第 6 回	デジタル化の技術 (2) 資料の形状、色などのデジタル化
第 7 回	デジタルアーカイブ
第 8 回	データベース、デジタルアーカイブの体験
第 9 回	展示における情報・メディア活用の実例 (1) 情報通信技術の活用
第 10 回	展示における情報・メディア活用の実例 (2) VR 映像
第 11 回	博物館における情報・メディア活用の実例 (1) 情報公開とインターネット
第 12 回	博物館における情報・メディア活用の実例 (2) 高精細画像の活用
第 13 回	博物館における情報・メディア活用の実例 (3) 復元 CG の制作
第 14 回	博物館と知的財産
第 15 回	まとめ
第 16 回	レポート提出

**到達目標**

博物館における情報・メディアの意義、技術、方法、課題について理解し、博物館での情報提供や情報・メディア活用に関する基礎知識を身につける。情報技術や実例を理解するだけでなく、学芸員として何のために情報化をおこなうか、何を情報発信するか、目的意識をもって考察できる能力を養う。

**履修上の注意**

- なるべく多くの博物館・美術館に足を運び、積極的に情報・メディアの活用の実際についても見学、体験すること。
- パソコンを各自実際に操作する実習形式の回を設ける予定である。
- 期末レポートの課題内容の関係で、講義の順番を入れ替える場合がある。その場合は、授業内で告知する。

**予習・復習**

- 授業内で紹介した参考文献などについて、積極的に調べること。
- 授業内で紹介したホームページや携帯アプリなどについて、自身の目で閲覧あるいは操作し、博物館・美術館における情報・メディア活用の取り組みを体験すること。

**評価方法**

期末レポート (70%)、授業内課題 (30%) によって評価する。

**テキスト**

- 教科書は使用しない。参考文献を授業内で紹介する。
- 資料を毎回配布する。